

【1】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私の本名は炳五（ヘイゴ）という。男兄弟の五人目だから五の字がついてるが、炳はアキラカというような意味のほかこれ一字でヒノエウマを表している字でもある。また、^①ヘイゴという音はヒノエウマの丙午に通じてもおつて、ヒノエウマづくしのような名前だ。戸籍の半分を名前が表してるから便利でもあるが、齡がごまかせないような不便もある。^A甚だしく手のこんだ名前だから、親父にとつては苦心の作で、あるいは名作と^B自負していたのかも知れないが、子供にとつては困った名前であつた。

私の生れた新潟では寸をつめて名前をよぶ癖があつて、ヘイゴをヘゴとよぶ。^C敬称のサンを略して「ヘゴサ」とよぶのである。音がよくない。いかにも臭そうだ。それに新潟では弱虫をヘゴタレと呼ぶから益々よくない。南洋の植物にヘゴマルハチというのがあつてこれが読本にでけると、同級生の奴らはゲラゲラキヤアキヤア大喜びで鳴りやまないから、こういう時には笑う奴をセンメツしたくなつたものである。近所の魚屋に「マゴサ」とよばれる店があつたが、私とはへとマのちがいで音全体としてもいかにも人に笑われそうな名であるから、子供心に大そう親近感をいだいていたのを忘れない。

私が子供のころ、親類のジイサン、バアサンなどが頭をなでくれたりしながら、お前男に生れてよかつたな、女なら悲しい思いをしなければならぬなどとよく言われたものである。

戦後はグンと民主化や文明開化が行きとどいて、古来の因習が少なくなり、ヒノエウマの迷信などはもう問題にならないように一口に言われがちだが、果してそうか、甚だしく疑問である。

戦後ヒノエウマが人々の話題とならないのは、ヒノエウマ生れの人々が新春には四十九歳となり、とつくに婚期もすぎて、落ちつくところに落ちついているせいだろう。^②泣いた人も涙がかわき、^③死ぬ人はとつくに死んでしまったのだ。^D干支は六十年周期だから、十二支がもう一廻りすると次のヒノエウマの人々がまた生れてくるが、これらの女の人が多かれ少かれヒノエウマの迷信の受難者たること古来の先輩とあまり変りがなからうというのが私の考えだ。

ヒノエウマの迷信の起りは知らないが、だいたい干支というものは、日本に於ては最も古い文化の一つである。ともかく、これ自身も昔は文化であつたには相違ない。

古事記や書紀の昔から、干支というものが年代をはかる標準になつていた。^④西暦が百年周期で、世の移り変りを観じているように、昔の日本は干支の六十年周期で世の推移を觀じていたのかも知れない。年号や元号を書き忘れても、丙午三月とか丁寅七月というように干支の方は書き忘れない。古い^E碑文や古記録などにはそれが多くて、いつの天皇のころの丙午であるか丁寅であるか、その判定に学界が今も迷っているような例は少くない。六十年のヒラキがあるのだから判定によつては一問題であるが、昔の人はそんなことが問題になるとは考えていなかったらしく、干支の六十年周期というものゝが車輪の跡のように正しく伝わり残つて行くものだと思ひこんでいたのかも知れない。

こういう古い歴史的生命的生命を持ちつたえている干支であるから、日本人の生活にくいこんでいる干支の魔力というものは深く広く根強いものがある。^注アプレの青年でもヒノエウマは迷信と断じながらもオレは^F辰年の生れだとか、アイツは^G寅だから気が強いなぞ

と無自覚に語り合つてしまふのが自然で、祖父から父母へ、また子へと、家庭の会話の伝統というものが電気センタク機やラジオと甲乙ない生命力を持つてゐるのだ。我々はラジオなしで暮すことではできるが、精神の伝統から切り離れて物を考え、また生きることがさうむずかしい。

だいたい、文明開化なぞと云つても、精神生活とはあまり関係のないものだ。文化はむしろ^⑥迷信の^H母胎であるかも知れない。完全に文化がなければ迷信もない。スポーツマンが、むしろ優秀なスポーツマンほど迷信的になり易いのは、彼らがむしろ進歩につれて己れの弱さや、^I拙さを^J熟知するようになるからだ。文化全般に於て同じことで、文化の進歩につれて各人の迷信が、なくなること考えられない。

しかし、文化人の個人的な迷信に比べればヒノエウマの迷信がバカバカしいことは確かであるが、これとても早晩の消滅を期待することは不可能だ。すべて迷信の消滅は^⑧これを期待しない方がよい。そしてただ銘々の教養や勇氣や楽天性によつて自分がその受難者たることを避けるように心掛けるのが何よりである。

注 アプレ||既存の道德觀を欠いた無軌道な若者
(坂口安吾『ヒノエウマの話』)

【1】 問一. 傍線部A～Jの漢字の読みをひらがなで答えなさい。

問二. 次の文は傍線部①を説明している。() の中に適当な語句を入れなさい。

(K) を漢字で書けば (L) であり、これを音読みすれば、(M) となる。

問三. 傍線部②の「泣いた人」は何歳か、また、傍線部③の「死ぬ人」の一番若い人は何歳か書きなさい。

問四. 傍線部④に関して、西暦の百年の単位を何と言いますか。また、傍線部⑤の「迷信」を意味する外来語を書きなさい。

問五. 傍線部⑥の「これ」とは何か、本文中より抜き出さなさい。

問六. 本文からわかる「ヒノエウマの迷信」とはどんなものか、次の説明の() 内の語句を選び完成させなさい。

(N 男性 女性) にとつて、(O 寿命 婚期) に関わる (P 良い 悪い) 迷信

【2】 次のカタカナの部分の漢字で答えなさい。

(①ハタン) の (②ケイイ) を語る
(③フソク) の (④ジタイ) が (⑤ハツセイ) した

【3】 次の語の反対語を書きなさい

① 奥手 ② 黎明 ③ 肥沃 ④ 必然 ⑤ 閑暇

【4】 次の□に文字を入れて四字熟語を完成させなさい

① 臨□応変 ② 五里□中 ③ 絶□絶命 ④ 自画自□

【5】 次の作品の著者を解答群から選び記号で答えなさい。

① 山椒大夫 ② 細雪 ③ 破戒
④ 走れメロス ⑤ セロ弾きのゴーシュ
ア. 島崎藤村 イ. 太宰治 ウ. 谷崎潤一郎
エ. 宮沢賢治 オ. 森鷗外

【6】 次の季語の季節を書きなさい。

① 新米 ② 外套 ③ 雷 ④ 雪崩 ⑤ 松虫 ⑥ 楓